

施設内危険箇所事例集

—こんな危険箇所が発見されました—



危険箇所総点検活動マニュアル
付属資料

施設内危険箇所事例集

－総点検活動で発見された危険箇所－



脱衣所・浴室

	更衣室の椅子	奥行きの深いイスは、体が後方に傾き前に滑り、ずり落ちの原因となります
	更衣室の床	滑りやすい場所だから防滑性のある床を
	椅子には手すりが必要	ズボンをはく時や靴下を履く時などバランスを崩した時つかまる手すりが必要。
	浴槽の構造	Rの多い浴槽は滑る。F R Pのユニットバスのように、浴槽の角の内側が丸みをもっている浴槽は、障害のある人にとっては滑りやすく危険。
	浴槽の構造	埋め込み浴槽は危険。階段を5段歩かないと浴槽に入れない。しかも階段はお湯の中でステップが見えない。どうやって転ばずに入ろうか？
	滑る排水溝の蓋	こんな場所で滑ったら大事故になります。排水溝の蓋は滑り止め加工が必要です
	座面が湾曲している シャワーチェア	シャワーチェアの座面が湾曲している。 ど真ん中に座れば問題ないが、中心からずれて座ると体が傾き、イスから転落する事故が多発している。
	手元でお湯の出し止めができないシャワーヘッド	お湯を出したり止めたりするたびに、蛇口に手を伸ばすのでは介護職の大きな負担になる
	座面が滑りやすい リフト浴	座面が滑りやすい上、安全ベルトをきつく締められないので、チェア上で滑ってバランスを崩す危険がある

居室・デイルーム

	居室の扉が内開き	居室の扉は横開きか外開きが鉄則
	本当に低床ベッド？	一番低い状態で63cmもあるのでは安定した端座位は取れません。
	錆びついてグラつく 介助バー	介助バーがグラついているのでは身体を支えられません。
	ソファ	ソファから軽やかに起き上がる人はいません
	座面の奥行き長い椅子	ずり落ちの原因になりますし、姿勢が悪くなるので食事には適しません
	クッションマット	厚みがあるクッションマットは端に足を引っかけて転倒します





トイレ

	手すりが足りないトイレ	大昔の施設のトイレと同じです バランスを崩したら転落した大ケガです
	変なL字手すり	ちょっと変わったL字手すりですが、 どうやってつかまって立ち上がれば良いのか？

車椅子など福祉用具

	座面が弛んだ車椅子	車椅子を長期間使用すると座面が弛んで 坐った時に腰に痛みが出ます
	タイヤの擦り減り	これではブレーキは利きません
	ずり落ち防止？	ずり落ち防止のために腿の下にタオルを敷いていま すが、足がうっ血するので絶対にしてはいけません。
	フットレスの角が 尖っている	トランスの時に、足がぶつかると皮膚の剥離が起き ます
	滑り止めネット	ずり落ち防止のための滑り止めネットをよく見ます が、 座布団の下に敷くのが良いと思います。
	ブレーキでタイヤが 猛烈に減る	このタイプのブレーキはタイヤの表面を強くこするの でタイヤがすぐに減ってしまいます

その他

	水の入った灰皿	認知症のある利用者が間違えて 灰皿の水を飲んでしまうと命にかかります
	ヘルパーステーション内の 殺虫剤	殺虫剤は必ず鍵のかかるキャビネットに収納しま しょう
	傾斜が急なスロープ	ズボンをはく時や靴下を履く時などバランスを崩し た時つかまる手すりが必要。
	エントランスの下駄箱	エントランスで靴を脱ぐ施設は 下駄箱前に必ず椅子が必要